

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 46 週（11 月 11 日～11 月 17 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	7 人	類型	患者 3 人、 無症状病原体保有者 4 人 血清型 O157 5 人、不明 2 人
四類感染症 E型肝炎	1 人	推定感染地域	不明
レジオネラ症	5 人	病型	肺炎型 5 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人	病型	B型
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 2 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 人	血清群	A群 3 人、G群 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	5 人		
梅毒	14 人	病型	早期顕症Ⅰ期 11 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人
百日咳	9 人	年齢階級	6 歳 1 人、7 歳 1 人、 10 歳代 6 人、30 歳代 1 人

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

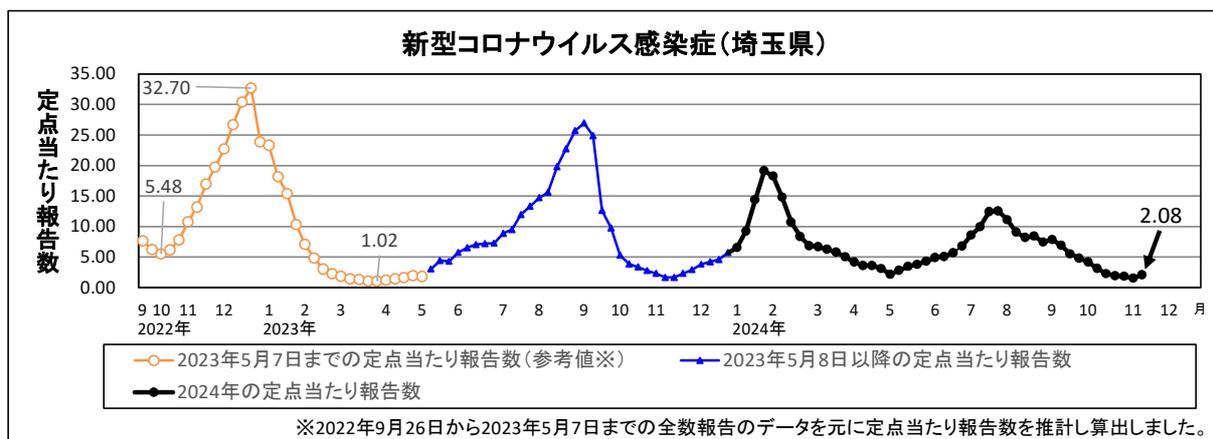
新型コロナウイルス感染症（1.52*→2.08：図 1）の定点当たり報告数は、第 31 週以降、全体として減少傾向が続いていたが、今週は前週と同水準であった。保健所別では、秩父（2.40→6.40）保健所管内で大きく増加した。基幹定点における入院患者の報告は 37 人（前週 16 人）であった。インフルエンザ（0.95→2.15：図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、流行期入りの目安である 1.00 を上回った。保健所別では、狭山（4.20）、幸手（4.00）保健所管内からの報告が多い。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図 3）は、52 人（前週 53 人）の報告があり、依然として多い状況が続いている。年齢階級別では、14 歳以下の患者が全体の約 85%であった。伝染性紅斑（1.12*→1.92：図 4-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、県内 17 保健所管内中、14 保健所管内において前週の値を上回り、引き続き南部（7.00）保健所管内からの報告が非常に多い。年齢階級別では、前週と比較して 5～7 歳の報告が大きく増加し、全体の約 52%であった。手足口病（8.05*→5.82：図 5）の定点当たり報告数は、第 42 週以降、減少傾向にあるものの、依然として多い状況にある。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 25 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、感染性胃腸炎（ロタウイルス）1 人、インフルエンザ（入院）4 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idschtml/>）で閲覧になります。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第46週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 インフルエンザウイルスの定点当たり報告数の推移

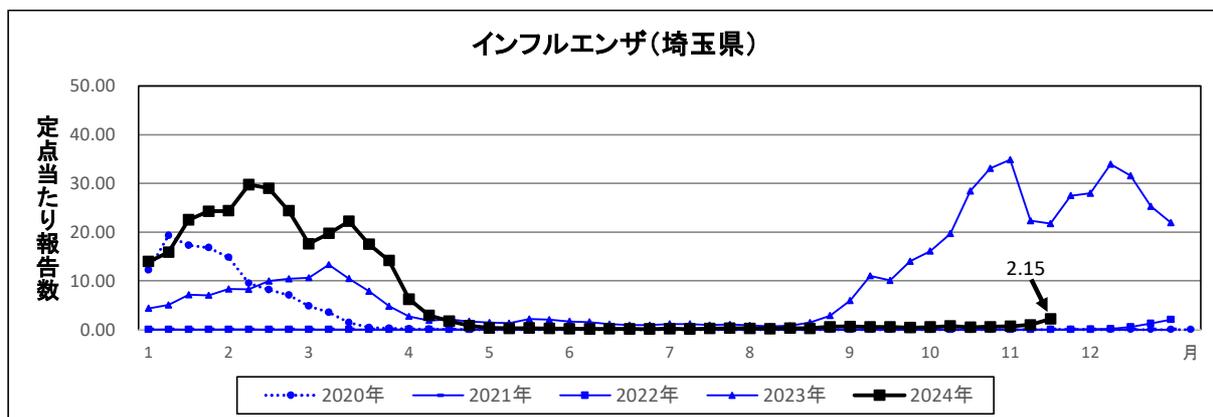


図3 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移

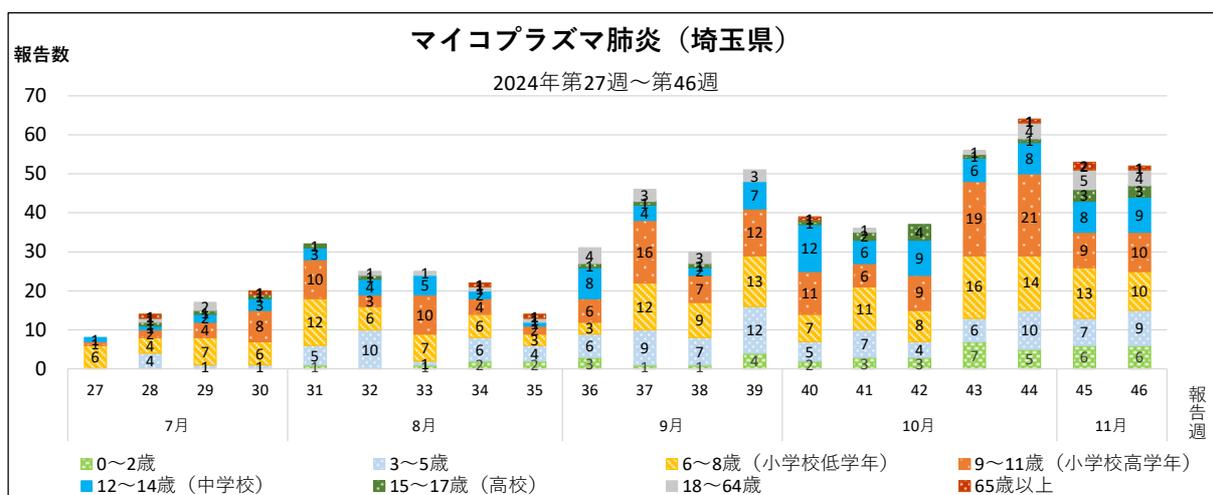


図 4-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

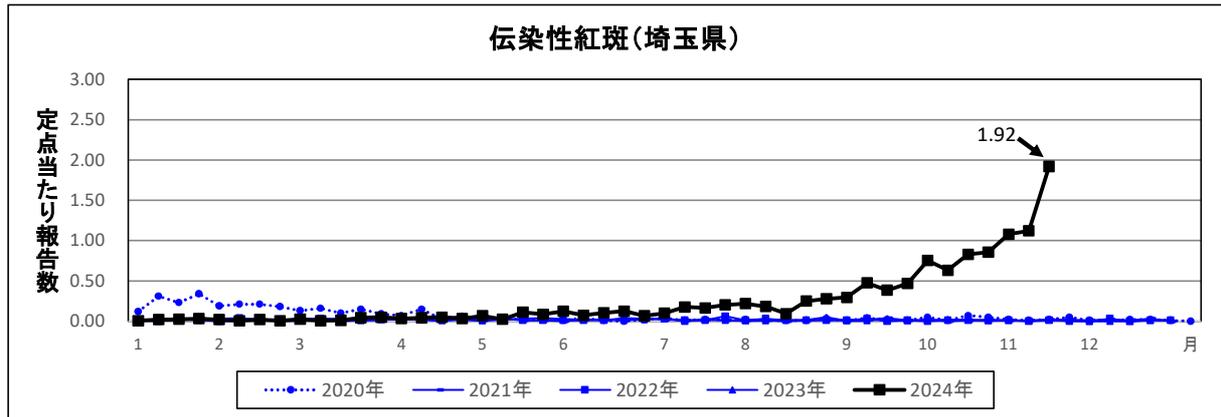


図 4-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第44週~第46週)

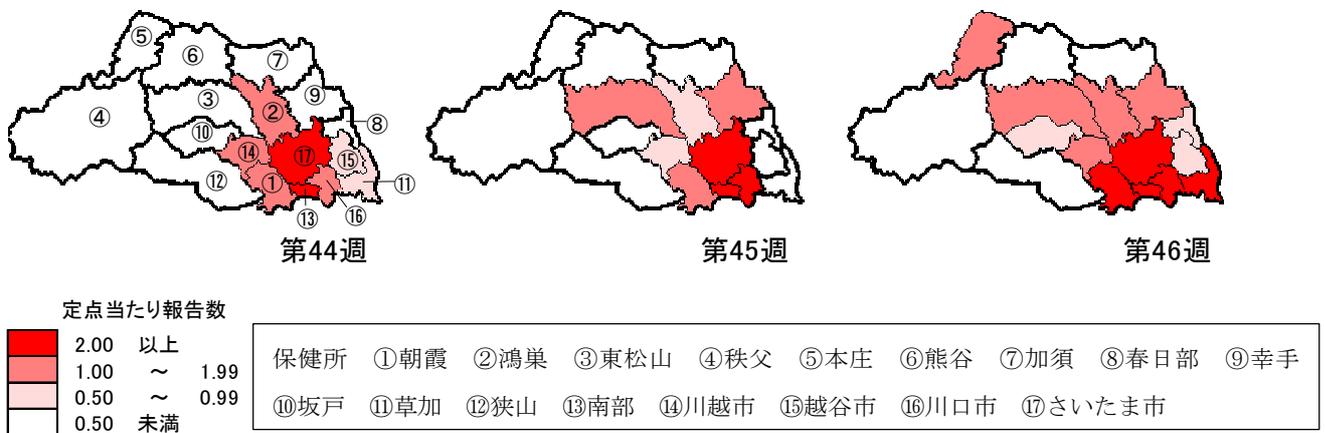
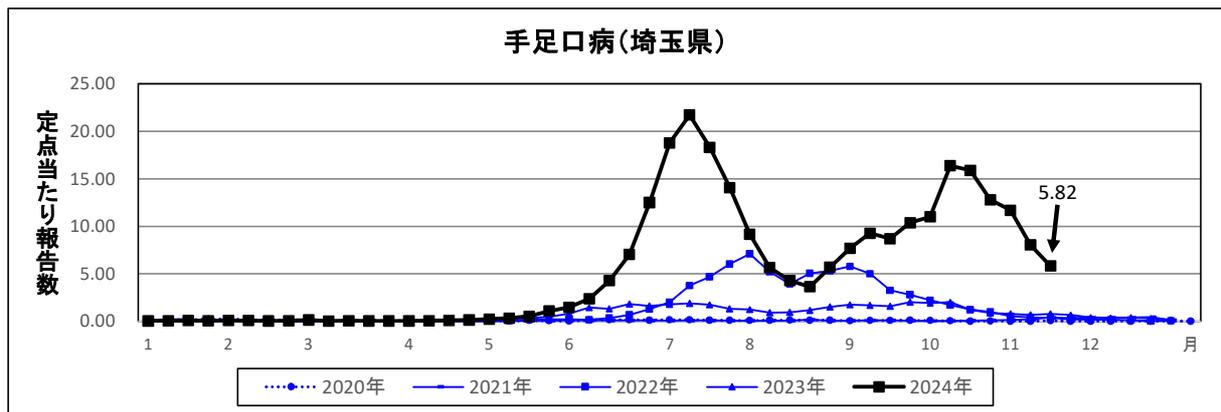


図 5 手足口病の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第46週)

(2024年11月19日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	7	158			
四類感染症					
E型肝炎	1	35	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	5	116
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		22	侵襲性肺炎球菌感染症	5	83
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	16	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	90	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	14	408
急性脳炎		23	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	104	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		29	百日咳	9	140
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		20	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年10月分)

2024年10月の届出総数は、患者40人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者24人の計65人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数とも同水準であった。推定感染地域は国内38人、国外3人、不明24人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年10月～2024年10月)

	2023年*			2024												累計**
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
総計	50	59	76	69	72	55	54	51	61	61	47	60	65	595		
年齢階級																
10歳未満	0	0	5	2	1	1	2	2	1	0	0	1	1	11		
10歳代	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	2	6		
20歳代	3	2	8	2	6	8	7	6	3	13	6	6	4	61		
30歳代	3	6	7	9	6	1	3	2	6	2	5	4	6	44		
40歳代	2	4	3	4	8	6	5	4	5	3	2	0	6	43		
50歳代	5	10	5	6	9	5	6	5	8	9	6	8	9	71		
60歳代	10	8	12	6	12	3	3	7	9	5	8	8	8	69		
70歳代	10	8	10	16	10	12	11	9	10	14	9	17	7	115		
80歳代	15	17	17	19	14	15	10	12	13	12	7	10	17	129		
90歳以上	1	3	9	5	4	4	6	3	6	3	4	6	5	46		
性																
男	29	39	44	36	48	30	28	27	37	43	28	39	36	352		
女	21	20	32	33	24	25	26	24	24	18	19	21	29	243		
類型																
患者	34	42	42	46	43	36	37	40	43	37	33	37	40	392		
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
疑似症患者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3		
無症状病原体保有者	16	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	23	24	200		
病型																
肺結核	28	26	31	31	30	20	22	24	32	24	17	26	29	255		
肺結核及びその他の結核	2	7	5	5	2	3	5	4	1	6	5	4	4	39		
その他の結核	4	9	6	10	11	13	10	12	10	7	11	7	7	98		
疑似症患者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3		
無症状病原体保有者	16	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	23	24	200		
推定感染地域																
国内	31	35	50	47	37	25	34	29	35	31	24	28	38	328		
国外	1	6	3	3	8	4	6	6	9	9	2	3	3	53		
不明	18	18	23	19	27	26	14	16	17	21	21	29	24	214		

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

10月に診断された65人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計29人の報告があり、60歳代以上が15人で約52%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年10月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	29	4	7	1	24	65
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	1	0	0	0	1	2
20歳代	4	0	0	0	0	4
30歳代	2	0	0	0	4	6
40歳代	3	1	0	0	2	6
50歳代	4	1	1	0	3	9
60歳代	3	0	2	0	3	8
70歳代	0	1	0	0	6	7
80歳代	9	1	3	0	4	17
90歳以上	3	0	1	1	0	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第46週

11月11日~11月17日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ ィ ル ス)	イ ン フ ル エ ン ザ (入 院)	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症 (入 院)
全 県	報告数 560	541	26	67	424	453	35	949	313	45	18	6	2	25	-	2	52	-	1	4	37	
	2.15	2.08	0.16	0.41	2.60	2.78	0.21	5.82	1.92	0.28	0.11	0.04	0.05	0.60	-	0.17	4.33	-	0.08	0.33	3.08	
朝 霞	報告数 69	47	2	6	54	40	8	74	39	7	-	-	-	4	-	1	13	-	-	1	3	
	3.00	2.04	0.13	0.40	3.60	2.67	0.53	4.93	2.60	0.47	-	-	-	1.00	-	1.00	13.00	-	-	1.00	3.00	
鴻 巣	報告数 42	47	3	9	24	26	-	86	18	3	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	2.21	2.47	0.25	0.75	2.00	2.17	-	7.17	1.50	0.25	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 7	2	-	-	5	17	-	29	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.88	0.25	-	-	1.00	3.40	-	5.80	1.60	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数 3	32	1	1	4	-	-	5	-	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4	
	0.60	6.40	0.33	0.33	1.33	-	-	1.67	-	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4.00	
本 庄	報告数 5	15	-	-	1	-	-	35	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	0.71	2.14	-	-	0.25	-	-	8.75	1.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
熊 谷	報告数 17	26	-	1	16	27	1	40	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	
	1.31	2.00	-	0.13	2.00	3.38	0.13	5.00	-	0.25	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	4.00	
加 須	報告数 7	15	-	1	6	3	-	40	2	2	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
	0.70	1.50	-	0.17	1.00	0.50	-	6.67	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	
春 日 部	報告数 30	25	-	4	52	30	-	40	5	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	3.00	2.50	-	0.67	8.67	5.00	-	6.67	0.83	-	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 56	44	3	10	21	11	-	71	13	1	2	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	4.00	3.14	0.33	1.11	2.33	1.22	-	7.89	1.44	0.11	0.22	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 13	27	-	4	3	23	1	24	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
	1.30	2.70	-	0.67	0.50	3.83	0.17	4.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00	
草 加	報告数 41	45	1	2	20	18	3	45	22	1	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	2.28	2.50	0.09	0.18	1.82	1.64	0.27	4.09	2.00	0.09	0.18	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 105	67	5	8	67	45	3	43	7	7	-	1	2	1	-	1	7	-	-	-	4	
	4.20	2.68	0.31	0.50	4.19	2.81	0.19	2.69	0.44	0.44	-	0.06	0.40	0.20	-	1.00	7.00	-	-	-	4.00	
南 部	報告数 17	14	2	5	35	34	2	34	35	3	8	-	-	1	-	-	5	-	-	1	1	
	2.13	1.75	0.40	1.00	7.00	6.80	0.40	6.80	7.00	0.60	1.60	-	-	1.00	-	-	5.00	-	-	1.00	1.00	
川 越 市	報告数 34	24	-	2	20	8	1	26	14	1	2	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	2.43	1.71	-	0.25	2.50	1.00	0.13	3.25	1.75	0.13	0.25	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 14	34	2	1	8	22	-	46	7	3	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1	
	1.08	2.62	0.25	0.13	1.00	2.75	-	5.75	0.88	0.38	-	-	-	-	-	-	11.00	-	-	-	1.00	
川 口 市	報告数 55	30	2	5	25	69	3	121	28	6	-	1	-	2	-	-	2	-	1	1	4	
	2.75	1.50	0.15	0.38	1.92	5.31	0.23	9.31	2.15	0.46	-	0.08	-	0.50	-	-	2.00	-	1.00	1.00	4.00	
さいたま市	報告数 45	47	5	8	63	80	13	190	106	8	1	1	-	13	-	-	10	-	-	1	8	
	1.05	1.09	0.18	0.29	2.25	2.86	0.46	6.79	3.79	0.29	0.04	0.04	-	1.44	-	-	10.00	-	-	1.00	8.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

11月 19日 13:45 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第46週

11月11日～11月17日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	560	1	2	15	9	12	17	24	29	26	26	38	124	35	32	40	50	50	17	10	3
新型コロナウイルス感染症	541	1	7	6	2	4	3	2	5	6	1	7	35	38	59	47	47	85	64	73	49
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	26	4	3	9	3	1	1	1	1	1	1	-	1	-	-						
咽頭結膜熱	67	1	1	9	10	4	10	8	6	7	5	3	2	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	424	-	1	11	22	26	39	38	45	52	41	32	91	8	18						
感染性胃腸炎	453	8	22	53	44	45	40	36	40	29	23	18	52	8	35						
水痘	35	-	-	-	2	1	3	4	3	7	3	4	7	1	-						
手足口病	949	7	20	151	133	126	147	100	64	51	35	41	56	5	13						
伝染性紅斑	313	-	1	7	15	22	26	52	61	49	40	21	18	1	-						
突発性発しん	45	1	9	25	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	18	-	-	6	3	2	3	2	1	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	1	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	25	-	-	-	3	-	4	2	-	1	-	-	1	-	-	1	6	1	4	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	52	1	12	15	16	3	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	1				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2				
新型コロナウイルス感染症(入院)	37	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	4	24				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第44週 (10月28日～11月3日)

令和6年11月20日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(10.64)、静岡県(2.09)、千葉県(2.00)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は101例と前週と比較して増加した。都道府県別では31都道府県から報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～9歳(26例)、10代(9例)、20代(1例)、30代(2例)、50代(7例)、60代(7例)、70代(14例)、80歳以上(31例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(3.61)、北海道(3.34)、岩手県(2.95)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は735例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～9歳(22例)、10代(7例)、20代(13例)、30代(10例)、40代(14例)、50代(31例)、60代(74例)、70代(187例)、80歳以上(369例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.75)、愛媛県(0.72)、山形県(0.71)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は和歌山県(0.69)、北海道(0.67)、鹿児島県(0.65)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.70)、鳥取県(4.16)、大分県(3.42)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.61)、宮崎県(5.61)、熊本県(5.06)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(18.58)、宮崎県(18.33)、岩手県(17.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は東京都(1.38)、埼玉県(1.08)、神奈川県(1.07)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.65)、大分県(0.58)、山形県(0.43)、茨城県(0.43)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山梨県(0.13)、群馬県(0.08)、香川県(0.07)である。

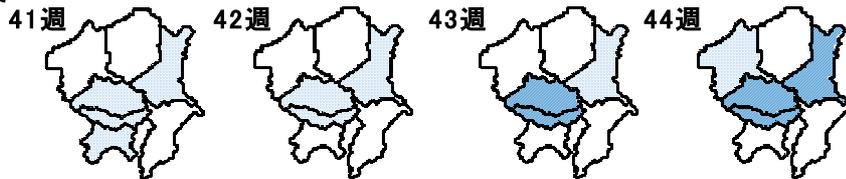
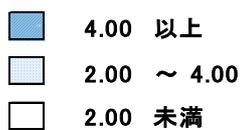
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(5.67)、埼玉県(5.33)、岐阜県(4.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では1～4歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第44週(10月28日～11月3日):通巻第26巻 第44号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(5.33)、東京都(4.28)、茨城県(4.08)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 44週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	5,127	1,611	115	62	82	174	400	386	392
	定点当たり	1.04	1.06	0.96	0.82	0.96	0.67	2.00	0.92	1.11
新型コロナウイルス感染症	報告数	7,752	2,401	300	146	157	478	400	456	464
	定点当たり	1.57	1.59	2.50	1.92	1.85	1.84	2.00	1.09	1.31
RSウイルス感染症	報告数	822	206	13	12	8	41	12	66	54
	定点当たり	0.26	0.22	0.17	0.25	0.15	0.25	0.10	0.25	0.24
咽頭結膜熱	報告数	787	206	32	13	26	44	20	45	26
	定点当たり	0.25	0.22	0.43	0.27	0.49	0.27	0.16	0.17	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,967	1,781	218	68	56	328	360	418	333
	定点当たり	1.91	1.87	2.91	1.42	1.06	2.01	2.88	1.58	1.49
感染性胃腸炎	報告数	8,706	2,531	166	78	162	529	351	743	502
	定点当たり	2.78	2.66	2.21	1.63	3.06	3.25	2.81	2.81	2.24
水痘	報告数	507	178	2	24	4	26	22	50	50
	定点当たり	0.16	0.19	0.03	0.50	0.08	0.16	0.18	0.19	0.22
手足口病	報告数	24,094	9,352	582	527	573	1,914	1,522	2,311	1,923
	定点当たり	7.70	9.82	7.76	10.98	10.81	11.74	12.18	8.75	8.58
伝染性紅斑	報告数	1,154	889	14	13	8	176	75	363	240
	定点当たり	0.37	0.93	0.19	0.27	0.15	1.08	0.60	1.38	1.07
突発性発しん	報告数	795	242	10	19	19	45	29	62	58
	定点当たり	0.25	0.25	0.13	0.40	0.36	0.28	0.23	0.23	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	590	203	32	6	6	58	28	40	33
	定点当たり	0.19	0.21	0.43	0.13	0.11	0.36	0.22	0.15	0.15
流行性耳下腺炎	報告数	124	45	1	2	4	8	8	8	14
	定点当たり	0.04	0.05	0.01	0.04	0.08	0.05	0.06	0.03	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	340	151	20	10	5	17	30	19	50
	定点当たり	0.49	0.74	1.25	0.83	0.36	0.40	0.88	0.49	1.04
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	3	1	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.03	0.08	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	20	7	-	1	-	1	-	2	3
	定点当たり	0.04	0.08	-	0.14	-	0.08	-	0.08	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	1,183	279	53	11	18	64	9	107	17
	定点当たり	2.46	3.21	4.08	1.57	2.00	5.33	1.00	4.28	1.42
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査
2024年

- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

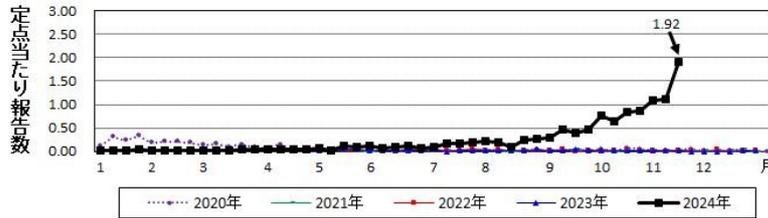
感染症の流行状況 2024年 第46週

2024年第46週（11月11日～11月17日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

伝染性紅斑(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

